

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームはなんばの里

施設種類：グループホーム・小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和7年5月27日 14時～15時

会場：グループホームはなんばの里

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	0人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	0人	出雲市職員	0人
その他（潮風苑施設長、はなんばの里施設長）			2人
デイサービスセンターやまもも 家族1名 職員2名 ※（デイサービスセンターやまもも運営推進会議との合同会議のため）			

（議題）

1. 利用者状況報告
2. 活動状況報告
3. 今後の行事予定について
4. 令和6年度事業報告について

（報告・説明事項）※グループホームはなんばの里に関するもの

利用者の状況報告	・現入所者数、申込者数、入退所状況、入所者状況、（性別、介護度、年齢） ※前回運営推進会議以降入退所なし
活動状況報告	・3月～5月に実施した主な行事・活動の報告 〔牡丹餅作り、お花見〕
今後の行事予定について	・演芸ボランティア〔銭太鼓〕受入（6月）、かたら団子作り（6月）
令和6年度事業報告について	・令和6年度グループホームはなんばの里事業報告の概要について説明

●議題1～3（利用者状況・活動状況・今後の行事予定）

（会議の内容…評価、要望、意見、助言等）

○ 家族の代表より

どこの施設でも職員が不足しているようですが、解消されましたか。

⇒ 施設より

今年度、はなんばの里の職員は充足した形でスタートしましたが、退職や療養を理由に欠員となっています。そのため来月のかたら団子作りを取りやめ、職員体制に少し余裕が出たときに違う行事を企画し、ご利用者に楽しんで頂けるようにしたいと考えています。法人内の他の事業所でも職員が充足した形でスタートしていますが、この2か月で体調を崩したり、退職する職員などで職員不足はなかなか解消されないのが現状です。10月から潮風苑にミャンマーの方が2名勤められる予定となっていますが、この度の地震で受け入れが遅れることも考えられます。介護福祉士の資格は保有されていませんが、3～5年就労という形を取りながら介護について学ばれ

資格取得される予定です。介護福祉士の資格を取得されたのちは、本国に技術移転目的で帰られるか引き続き日本に残って仕事をされるかのいずれかを選択されます。日本に来られる前に2か月程度、介護について勉強して臨まれます。言葉については一つの質問に対しては答えられますが、複雑になるとなかなか難しいようです。

○ 家族の代表より

外国人雇用にあたって、以前住居がなく受け入れが困難との話が出ていましたが、その問題は解消されましたか。

⇒ 施設より

町内に住居を確保することができました。住居は徒歩か自転車で通える距離にあります。

○ 施設より

今年度より、積極的にボランティアの受け入れを行っていこうと考えています。新型コロナウイルスが5類に移行して2年になりますが、多伎の郷では各事業所で人数や内容などの受け入れ態勢を考え、施設と地域ボランティアとのつながりを持ち続けたいと思っています。早速、多伎の社協からお話を頂きましたので、6月5日に銭太鼓を披露していただくこととなりました。昨年度は新型コロナウイルスが5類に移行して以降、はじめてご家族や高齢者クラブの方に来ていただき、施設の窓洗いや窓ふきをしていただきました。そのあとに希望される方のみではありましたが、認知症に関する勉強会を開催し参加していただきました。コロナ以降、地域密着型の施設でありながら地域と関わっていくことが疎遠になった気がしています。ボランティアの方に来ていただくことももちろんですが、こちらから地域に出掛けていく機会を増やしていきたいと考えています。ボランティアでお世話になるだけでなく、勉強会や地域の催し物等のお手伝いにお声がけいただければ出掛けていきたいと思いますので、教えて頂けると喜びます。地域に根差した施設となるよう地域とのかかわりを大切にしたいと考えています。

○ あんしん支援センター職員より

面会はどうなっていますか。

⇒ 施設より

事前の予約制となっており1回につき3人までとなっています。時間は30分までのところをお願いしています。ご利用者にはマスクを着用していただくことは難しいため、面会される方にマスクの着用をお願いしています。面会時の飲食についてはお断りをしています。午前、午後と日に2回来られても構いません。事前予約としていますが、急に面会を希望される場合にも臨機応変に対応しています。ただ、食事や入浴、排せつや行事などを行っている最中に面会にいらしても十分に面会していただけないこともありますので、事前に予約していただいて面会される方が望ましく思います。

● 議題4（事業報告）

○ 家族の代表より

施設から退所をお願いすることはありますか。

⇒ 施設より

はなんばの里の入所における条件として、自傷・他傷行為がないこと、常時医療行為を必要としないこと、認知症であることが挙げられます。例えば、入院されて常時医療的ケアが必要

になられると受け入れができなくなります。尿道カテーテルのように数週間に1回程度のバルーン交換処置であれば受け入れは可能です。

○ **家族の代表より**

はなんばの里では看取りも行っていますか。

⇒ **施設より**

入院して亡くなられる方もいらっしゃいますが、殆どの方ははなんばで看取りをしています。令和6年度の報酬改定により、協力医療機関と連携を図り、ご利用者の急変時の対応の取り決めや入院し退院ができるようになれば速やかに再入所させるよう努めることが義務付けられました。常時、医療行為を必要としない方については、ご本人やご家族が希望されればはなんばの里に戻っていただくようにしています。入院中に食事が摂れず、点滴で栄養補給されていた方がそのまま退院となると、看護師が多く配属されている施設等に転所されなければなりませんが、ご家族等が退院後、延命せずにはなんばで最期を迎えさせたいというご希望であれば、看取りの状態からでも受け入れすることは可能です。

(その他)

○ **次回開催予定日** デイサービスセンター やまもも 7月30日(水)